



『どんどこどん』
和歌山静子 作
福音館書店

「つちのなかで どんどこ どんどこ」。元気のよい葉っぱが描かれたページをめくると、その下でたくましく育つにんじんやだいこんが現れます。

根菜が土の中で育つ様子を力強い線でのびのびと描いた絵本。縦開きの大きなページのスケール感と「どんどこ どんどこ」という太鼓のような音の響きが絵によく合っていて、根菜の生命力を感じられます。

➡ 野菜の絵本

『やさい』（平山和子 さく 福音館書店）

